

「日曜日に乳がん検診が受けられます」

「美濃病院が『マンモサンデー』始めます」

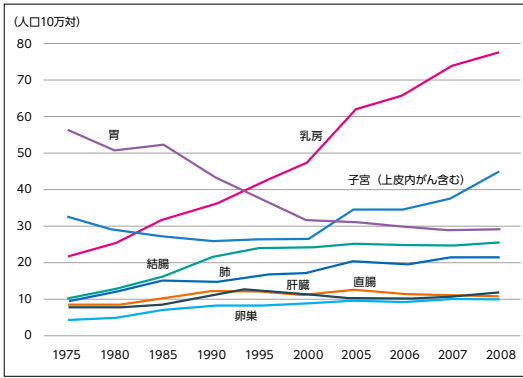
マンモサンデーとは

平日に仕事や子育てなどで乳がん検診を受けることが出来ない女性のために日曜日に乳がん検診を受けていただくという試みです。ピンクリボン運動と全国の医療機関が協力し、毎年10月第3日曜日に実施しているものです。

今年のマンモサンデーは10月18日(日)です。

乳がんの状況

乳がんになる人の数(罹患者数は年々増加しており1996年に女性の悪性腫瘍の第1位になりました。2007年には1年間で約6万人が乳がんになっています。この頻度は、女性の一生のうち12人に1人が乳がんになるといふ数です。このように、乳がんは女性にとってごく身近に起こる病気になっています。



部位別年齢調整罹患率 (国立がんセンターがん対策情報センターホームページから抜粋)

乳がんにかかりやすい年齢

乳がんの発生は20歳前後から認められ、30歳代で増加、40歳代から60歳代でピークに達し、その後やや発件数は減りますが、高い発生率となっています。

早期発見が大切な理由

早期発見の最大のメリットは『乳がん』になる確率が低くなることです。早期発見により治療された乳がんはほとんど命を脅かすことはありません。また早期に発見すれば乳房を温存するなど、自分の希望する手術法や治療法を選択できる可能性も高くなります。

乳房撮影(マンモグラフィ)

乳房は軟部組織であるために特殊なレントゲン装置を使って撮影を行います。その際、乳腺組織を均一化するために、一定の力で乳房を圧迫します。『さびく痛』ののでは?と思

乳腺超音波検査

われる方も多
いと思いま
が、多くの受
診者の方から
「思ったより
楽だった」と
の感想をいた
だいております。

乳房に超音波をあて、はね返ってくる反射波を画像化します。乳房表面にゼリーを塗って、その上からプローブと呼ばれる機械を軽くあてるだけなので痛みはほとんどありません。乳腺組織が密な若い女性では、マンモグラフィより有効といわれています。



乳腺超音波検査



乳房撮影(マンモグラフィ)

美濃病院のマンモサンデー

※診察・検査はすべて女性スタッフが担当します。

【開催日】 10月18日(日)
午前9時から正午(30分刻みで受付します)

【開催場所】 美濃市立美濃病院

【定員】 25名(定員になり次第受付終了)

【対象の方】 30歳以上の方(受診日に30歳以上の方)

【検診費用】 30~39歳の方: 1,000円(視触診および乳腺超音波検査)
40歳以上の方: 1,500円(視触診およびマンモグラフィ)

※美濃市に住民票があり、本年度美濃市乳がん検診を受けていない方
それ以外の方は一律5,400円

【予約方法】 9月14日(月)より受付します。お電話にてご予約ください。
予約電話は平日の午後0時30分から午後4時におかけください。
電話番号(0575) 33-5050 美濃病院健康管理室

乳がんが「見つかること」を
恐れずに自分自身のために
乳がん検診を受けましょう!



認定NPO法人J.POSH
日本乳がんピンクリボン運動

自治体立優良病院表彰を受賞しました

美濃病院は、経営が健全な自治体病院として全国自治体病院開設者協議会および公益社団法人全国自治体病院協議会会長から両協会会長表彰を授与されました。その表彰式が6月15日に、東京都の日本都市センターで行われ、阪本院長が美濃市と美濃病院を代表して出席しました。

同表彰は昭和61年度から行われており、過去5年間にわたり黒字決算で経営の健全性が高く、かつ地域医療の確保に重要な役割を果たしている病院の中から総合的に判断されます。平成27年度は全国約900の自治体立病院の中から13病院が表彰されました。

美濃病院は平成21年以降黒字決算を継続していますが、今回は、次の点が高く評価され受賞となりました。

▽全ての救急医療を受け入れる方針で市内唯一の病院として各医療機関と積極的に連携している。

▽訪問看護ステーションの設置により通院困難な患者や在宅診療を支援している。

▽病院職員のため24時間対応の院内保育所を設定している。

阪本院長は、現在、日本は有史以来どの国も経験したことのない急速な人口構成の変化の真つただ中にある。その中で今後の自治体立病院の果たす使命は重要であると考えている。そんな医療環境の変化に対応するため、平成28年4月完成予定で増改築工事を行っ

ており、今回賜った栄誉を大切に、職員一同、今後も地域医療の中核病院としてさらに努力を重ねたいと話しました。



△表彰状を受ける阪本院長（左）



△表彰状（上）
◁盾（左）

